

森へいこう 都心で育む「自然と共に生きる心」

4～5歳児を中心に、園児の興味や成長によっては2歳から、月1度、町田市の最高峰・草戸山のふもとで大自然と触れあう。自然という大きな力を前に思い通りにならないことを経験したり、自然の不思議に触れたり、見たことのない生きものに出会ったり…五感をめいっぱい使って自然を感じる時間は、豊かな原体験となり、子どもたちの成長を支えている。



新たな発見と出会うたびへ

一つとして同じものがない
自然環境は「なんだろう」の宝庫。



レイモンド南町田保育園 園長

阿部 良子

Ryoko Abe

公立保育園を8年経験後、子育てと並行してファミリーサポートやパート保育士に。子育てが落ち着いたことを機に、檸檬会の保育に共感し入職。一般保育士、副主任を経験して2018年に園長に。同園で子どもたちの日々「やりたいこと」に耳を傾ける保育を実現している。

レイモンド南町田保育園の野外体験プロジェクト『森へいこう』は、大自然の少ない都心だからこそ、今ある環境でどう工夫するか。職員が考え抜き、地域の協力を得て実現した。月に1度、草戸山のふもとへ出かけ、山、川、池…大自然で子どもたちは1日中のびのびと過ごすことができる。「森はダイレクトに自然や四季を感じられる場所。森でしか出会えないものに会いに行く…をテーマに、ハイキング、ネイチャーゲームなどで自然と触れあっています」と同園の阿部園長。自然の中には探究心の種がいっぱい！鳥に興味を持ち図鑑を借りる子、川の流れを不思議に思い調べる子。自然の中で見つけた『なんだろう』が『やりたい』につながり、園内での遊びや生活の学びの糧となるのです。月1度は森へ訪れる頻度には理由がある。「子どもたちは最初こそ特別な体験として楽しみますが、何度も森へ出かけるうちに、自然の中で炊事をし、遊び、過ごすことが普通の、日常的な当たり前になっていきます。それが、自然と共に生きる心につながる。自然で過ごす機会は今や大人にとっても貴重。子どもはもちろん、職員にとっても五感が刺激される成長の場です」と阿部園長は語ってくれた。



なんだろうのその先へ

子ども主体の保育を支える檸檬会に息づく心



学びとは遊びの中にあるもの。そんな保育を追求し続けている社会福祉法人檸檬会。

「自分の気持ちに向き合い、選んだ遊びに夢中になる。」

その過程で身につく、自分で考える力、自立する心、集中力や継続力は、

現代社会で自分らしく生きるための底力。

そんな生きる力を育む保育を行っています」檸檬会の保育士たちは声を揃える。

法人一丸となり目指す先にあるのは、人・命を愛する心、自然と共に生きる心、想像（創造）する心。

3つの心を基調とする、子どもたちの将来を支えるのが「生きる力、だ。」

「夢中になって遊び込む」その瞬間に共通しているものは何か。

突き詰めた先にあったのが『なんだろう』という探究心。

それが、子ども主体を貫く檸檬会の保育の鍵だった。



社会福祉法人
檸檬会

SOCIAL WELFARE CORPORATION LEMONKAI

社会福祉法人檸檬会

住所:和歌山県紀の川市古和田240

(法人本部)

採用受付電話番号:☎0120-50-7315

法人設立年月:2007年2月

全国で認定こども園、認可園、小規模園を50以上運営。アートやデザインを取り入れた園環境の中、子どもの興味や気持ちに寄り添い「なんだろう」という探究心から学びや成長を促し、子どもの世界を広げている。安心して保育に集中できるよう、海外研修、園内外研修、表彰制度、多様な働き方や好待遇等、職場環境も整備。上京支援も有。



求人情報はこちら